ATOMIC AQUATICS

Tabata
TOKYO LOS ANGELES SYDNEY AMSTERDAM

〈正規輸入代理店〉
株式会社タバタ

八潮事業所
〒340-0813 埼玉県八潮市木曽根768
☎048-996-7133 FAX.048-997-1606

大阪事業所
〒540-0012 大阪府大阪市中央区谷町2-4-5 谷町センタービル7F
☎06-6949-2661 FAX.06-6949-2671

九州エージェンシー
〒814-0104 福岡県福岡市城南区別府6-2-32
☎092-847-3681 FAX.092-847-3690

茨城事業所
《受注センター》
〒319-2134 茨城県常陸大宮市工業団地652-2 D棟
☎0295-54-0002 FAX.0295-53-4688
《メンテナンスサービスセンター》
〒319-2134 茨城県常陸大宮市工業団地651-2 A棟
☎0295-52-5621 FAX.0295-52-5823

◎製品に関するお問い合わせ先
お客様相談室 ☎0120-989-023
（受付時間／月～金 9:30～12:00, 13:00～17:00）
〒340-0813 埼玉県八潮市木曽根768

※ATOMICのWEB上から、取扱説明書（PDF版）をダウンロードすることができます。
http://atomicaquatics-j.com

※本文の無断転載をかたくお断りします。
©Copyright 2009 Tabata Co.,Ltd. All rights reserved.

ATOMIC AQUATICS

INFLATION REGULATOR

OWNER'S MANUAL
SS1 取扱説明書 第1版

製品名
オクトパスレギュレーター機能付
クイックインフレーター

このたびは、ATOMIC(アトミック)スクーバダイビング用オクトパスレギュレーター機能付クイックインフレーターをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

■この取扱説明書と製品保証書をよくお読みの上、正しくお使いください。その後は大切に保管し、必要な時にお読みください。

■製品保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

■この取扱説明書は正規輸入代理店である株式会社タバタで取扱った製品を対象に書かれています。

この取扱説明書はSS1専用の取扱説明書です。ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を読み、取扱方法と危険、警告及び注意事項を完全に理解するようにしてください。

はじめに

このページには、当製品を安全に使用するための重要事項が書かれています。

重要安全情報－1

スクーバダイビングは私たち人間が、通常生活している環境と異なる水中で活動することであり、水中では通常の生活環境とは異なる事が大変多くあります。通常の生活環境の常識がまったく通用しないため、常に**危険**が伴う環境でもあります。
また、環境だけでなく実際にスクーバダイビングを行う人間側にも同じ事が言えます。たとえば耳鼻咽喉系に疾患がある人は、陸上で生活する場合は特に問題が無くても、水中では鼓膜や耳管を損傷させる可能性があります。このようにスクーバダイビングに、一時的もしくは永続的に適さない人もいる事を認識しなければなりません。

これらの事から、**危険**を回避するためには、
①スクーバダイビング用器材の使用方法を当取扱説明書ですべてを良く読み理解する事が必要です。(不明な点がありましたら、お買い上げ販売店または弊社まで、お問い合わせください。)
②国際的に認知されている潜水指導団体のインストラクターから学科講習および実技講習を受けて、Cカード(講習終了認定証)を取得している事が必要です。
③医師の適正診断を受ける事が必要です。

重要安全情報－2

下記の道具をすべて揃えなければ、**安全**なスクーバダイビングを行うことはできません。
レギュレーター・オクトパスレギュレーター・B.C.J.(浮力調節装置)・コンソールゲージ(空気残圧計、水深計、水中コンパス)・ダイバーズウォッチ・ダイビングマスク・スノーケル・フィン・スクーバダイビング用スーツ・ウェイトセット・空気タンク・水中ナイフ・ダイビングブーツ・グローブ等の器材が必要です。

重要安全情報－3

取扱説明書は、関連するスクーバダイビング用器材と一緒に保管及び携帯し、不明箇所があった時は、いかなる場合も必ずお読みください。
当取扱説明書を紛失した場合には、弊社まで電話にてお問い合わせください。また、ATOMICホームページ上から取扱説明書(PDF版)をダウンロードすることができます。

株式会社タバタ
八潮事業所　〒340-0813 埼玉県八潮市木曽根768
☎048-996-7133　FAX.048-997-1606
大阪事業所　〒540-0012 大阪府大阪市中央区谷町2-4-5 谷町センタービル7F
☎06-6949-2661　FAX.06-6949-2671
九州エージェンシー　〒814-0104 福岡県福岡市城南区別府6-2-32
☎092-847-3681　FAX.092-847-3690

◎製品に関するお問い合わせ先
お客様相談室　☎0120-989-023(受付時間／月～金9:30～12:00、13:00～17:00)
〒340-0813 埼玉県八潮市木曽根768

❶この取扱説明書は当製品を安全に使用するために下記のような構成になっています。

1）安全に使用するための情報を身につける。
2）外観および各部名称を理解する
3）正しい使用・整備・保管方法を身につける
4）異常時の対処法を身につける

以上、順序を守りすべて理解してからご使用ください。

❷本取扱説明書は各潜水指導団体の学科講習および実技講習を受け、各指導団体の発行する**“Cカード（講習修了認定証）”**を取得した方を対象に書かれています。

❸本取扱説明書に書かれている**“潜水”**とは**スクーバダイビング**を指します。

❹本取扱説明書に書かれている**“H.P.”**とは**高圧**を指します。

❺本取扱説明書に書かれている**“L.P.”**とは**中圧**を指します。

❻本取扱説明書の本文中の**“イラスト”**は、イメージイラストであり、実際の商品と形状が異なる場合がありますのでご了承ください。

❼SS1を使用してバディブリージングする場合は、下記のように使用してください。

アトミックのSS1を使ったバディブリージングでは、自分はメインのレギュレーターからSS1に交換して呼吸し、メインのレギュレーターをバディに渡す必要があります。SS1は、メインのレギュレーター同様、楽に呼吸ができる設計になっていると同時に浮力のコントロールに使用できます。

安全のために

この取扱説明書には安全に対しての下記のサインが表示されています。

危険サインの種類	サ イ ン の 意 味
危 険	それを守らないと、最悪の場合、重症事故や死亡事故につながる危険性のあるスクーバダイビングに対する知識とスクーバダイビング器材の取扱い方法に関する情報。
警 告	それを守らないと、間接的に重症事故や死亡事故につながる可能性、もしくは、重度の物損事故が起こる可能性のあるスクーバダイビングに対する知識とスクーバダイビング器材の取扱い方法に関する情報。
注 意	それを守らないと、軽症程度の事故につながる可能性、もしくは、軽度の物損事故が起こる可能性のあるスクーバダイビングに対する知識とスクーバダイビング器材の取扱い方法に関する情報。

絵表示について　製品を安全に使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の例

	△記号は、注意（警告、危険を含む）をうながす内容があることをお知らせするものです。 図の中や近くに具体的な**「注意」**内容を示しています。
	⃠記号は、禁止の行為であることをお知らせするものです。 図の中や近くに具体的な**「禁止」**内容を示しています。 ちなみに左図は「分解禁止」という内容です。
	●記号は、行為をお守りいただく内容をお知らせするものです。 図の中や近くに具体的な**「指示」**内容を示しています。 ちなみに左図は「定期的なオーバーホールを受けてください」という内容です。

基本安全注意事項

危　険

●当製品を使用する場合は、国際的に認知されている潜水指導団体の学科講習および技講習を必ず受けてください。
●安全のため“各指導団体の発行するCカード(講習修了認定証)”を取得していない方の当製品の使用は禁止いたします。(各指導団体の指導者監督下における講習中の使用はこの限りではありません)

注)基本的なスクーバダイビングに関する正しい知識が無いまま潜水を行うと、重大な事故を招く可能性があります。

危　険

●お客様自身での“分解・修理・調整・改造”は絶対にやめてください。正しい知識の無い“分解・修理・調整・改造”などの行為は、使用中の機能異常を起こす恐れがあります。

危　険

●潜水時は絶対単独潜水は止め、必ずバディシステムを守ってください。

注)単独潜水は重大な事故を招く危険性があります。

警　告

●潜水前には必ず潜水計画を立ててください。減圧停止などが必要な潜水は絶対に止めてください。

注)株式会社タバタにおけるレジャーダイバーの安全深度限界は30mです。30m以深の潜水は止めてください。安全を軽視した潜水は、重大な事故を招く危険性があります。

警　告

●当製品は“※1海岸・湖・池・水泳用プール・ダイビング用プール”などで使用するレジャーダイバー用の水中専用呼吸器(オクトパスレギュレーター機能付クイックインフレーター)です。

●※1以外の水域“薬物・溶剤・油分などの浮遊・沈殿・含有”および“その可能性がある海洋・湖・池・プールなど”での使用は禁止します。これらの水域の成分(薬物・溶剤・油など)により当製品の各部が損傷(変形、強度劣化など)する可能性があり、水中ではそれらが原因で重大な事故を招く危険性があります。

警　告

●陸上の防煙マスク(火災および有毒ガス用)には使用できません。万一使用した場合は有毒ガスを吸い込み、使用者の生命を危険な状態にする可能性がありますので絶対に使用しないでください。

警　告

●ダイビング出発前に必ず各部を点検してください。“異音、エア漏れ、異常動作、各部の破損、取付け部の緩みなどの異常があった時”や“ご自身で正常・異常の判断ができない場合”はご購入店に点検または修理を依頼してください。

注)潜水開始前に再度各部を点検してください。上記の点検を怠り水中で問題が発生した時は、重大な事故を招く危険性があります。

警　告

●必ず良好な健康状態で潜水してください。

注)“寒気・疲れ・気分の悪さなど”を少しでも感じた場合は絶対に潜水しないでください。無理な潜水をした場合、重大な事故を招く危険性があります。

警　告

●潜水前は、“アルコールや薬品類(特に点鼻薬やかぜ薬)”の摂取は避け、体調不良や持病のある方は必ず事前に医師の診断を受けてください。

注)水中ではアルコールや薬品の摂取が原因で体調不良を起こし重大な事故を招く危険性があります。

警　告

●潜水前のセッティング作業点検を必ずしてください。

注)潜水前に、仲間同士(ガイド・インストラクターも含む)で必ず入念に打合せてください。打合せを怠って潜水することは重大な事故を招く危険性があります。潜降前に再度打合せ内容の確認とバディチェックをしてください。

警　告

●当製品に対して“極端な衝撃(荷重や牽引など)”を与えないでください。
また“※2直射日光や高温な場所に長時間放置”しないでください。変形や故障の原因となります。例)1m以上の高さからの単独落下、エアタンクの下敷き、セカンドステージネック部の船の一部に引っかけたままエントリーしてしまったり、35℃以上の所に長時間保管したりしたなど)

注)当製品を“※2のような環境にした時または可能性がある時”は使用前に必ずご購入店またはサービス機関にて点検を受けてください。もし※2のような環境にしたことが原因で、製品本体に損傷や故障が起ると水中では重大な事故につながる危険性があります。

警　告

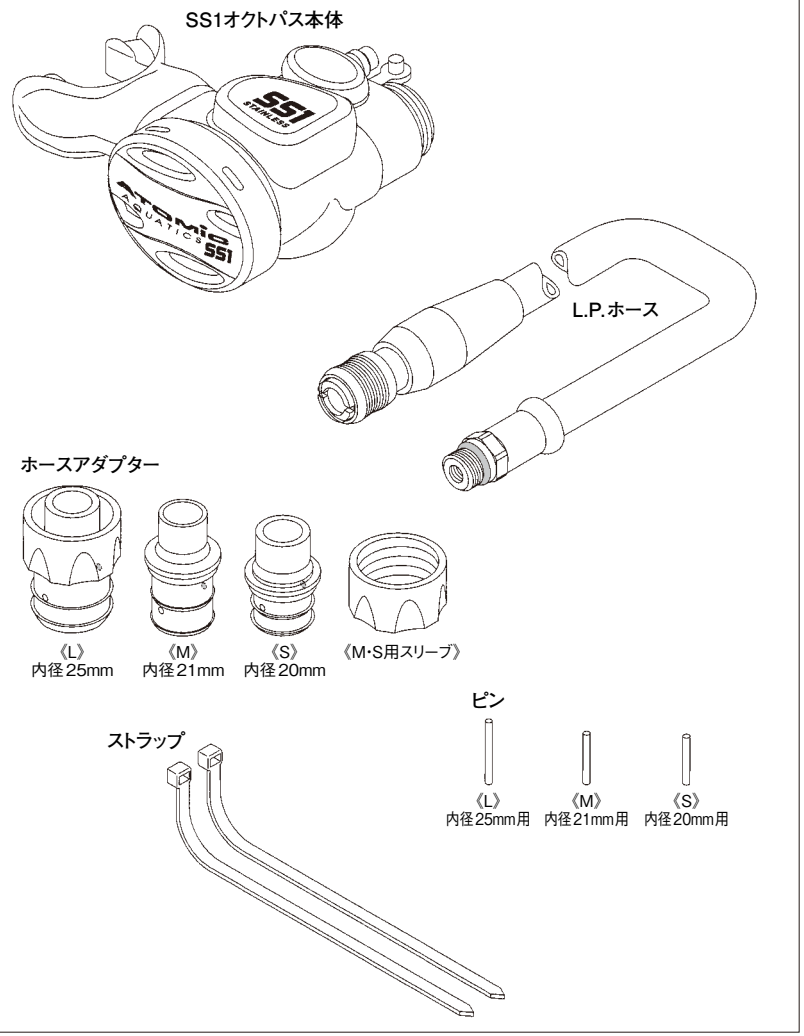
●潜水数でタンク100本、または使用状況にかかわらず、毎年1回のオーバーホールをご購入店に依頼してください。また、長期間ご使用にならなかった時(3か月以上)は使用前に臨時点検をご購入店に依頼してください。

注)オーバーホールおよび臨時点検は“器材内部のグリス切れ”や“お手入れ不足による塩詰まり”などの問題点を事前に発見し故障を予防します。“洗浄、修理、調整、給油”などを行い、性能を最良の状態にします。オーバーホールおよび臨時点検を怠ると器材が正常に機能せず、重大な事故につながる可能性があります。

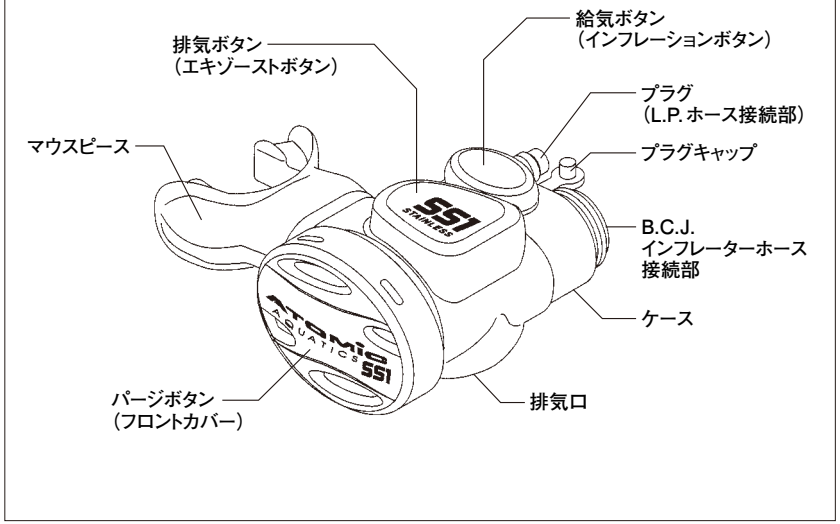
警　告

●当製品は、冷水下で潜水中に起きる器材の凍結を軽減するような特殊設計にはなっておりません。凍結は器材の正常な動作を妨げ、圧縮空気の供給停止などの重大な事故につながる可能性があります。

セット内容

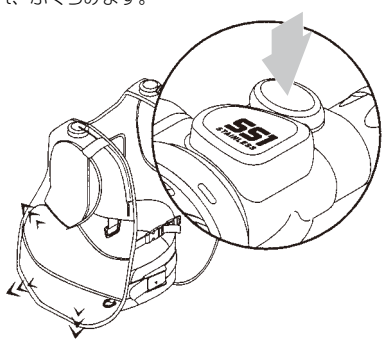


各部の主な名称



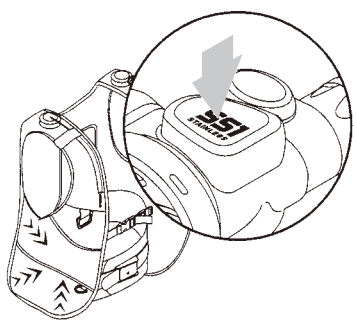
■給気ボタンの働き

給気ボタンを押すと、B.C.J.内に空気が送り込まれ、ふくらみます。



■排気ボタンの働き

排気ボタンを押すと、給気ボタンで送り込まれたB.C.J.内の空気が排出され、しぼみます。

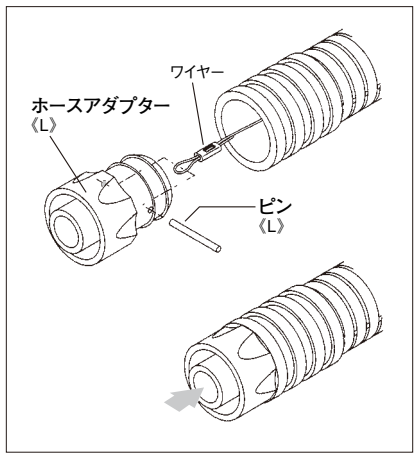


B.C.J.への取付け（※販売店にご依頼ください。）

■内径25mmホースへの取り付け

❶内径25mmのL.P.ホースには、ホースアダプター《L》を使用します。

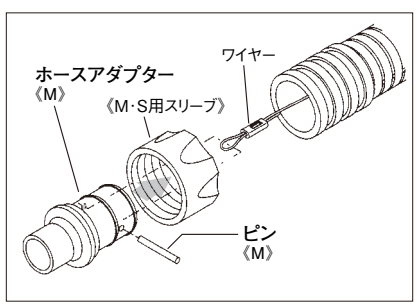
❷ホースアダプター《L》の穴に、ピン《L》を差し、B.C.J.インフレーターホースのワイヤーの輪に通してホース本体に差し込みます。
※ワイヤーがないB.C.J.もあります。



■内径21mmホースへの取り付け

❶内径21mmのL.P.ホースには、ホースアダプター《M》を使用します。

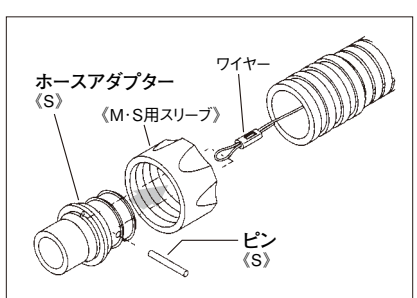
❷B.C.J.インフレーターホースのワイヤーに《M・S用スリーブ》を通し、ホースアダプター《M》の穴に、ピン《M》を差し、B.C.J.インフレーターホースのワイヤーの輪に通してホース本体に差し込みます。
※ワイヤーがないB.C.J.もあります。



■内径20mmホースへの取り付け

❶内径20mmのL.P.ホースには、ホースアダプター《S》を使用します。

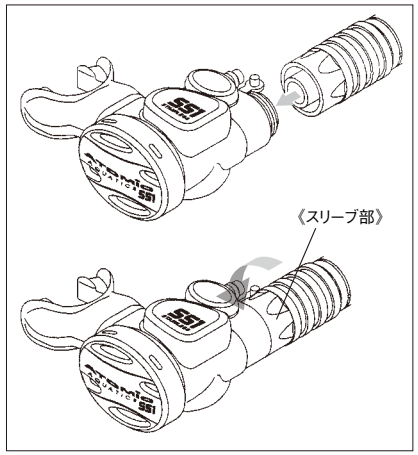
❷B.C.J.インフレーターホースのワイヤーに《M・S用スリーブ》を通し、ホースアダプター《S》の穴に、ピン《S》を差し、B.C.J.インフレーターホースのワイヤーの輪に通してホース本体に差し込みます。
※ワイヤーがないB.C.J.もあります。



■SS1本体の取り付け

❶ホースアダプターにSS1本体を接続します。

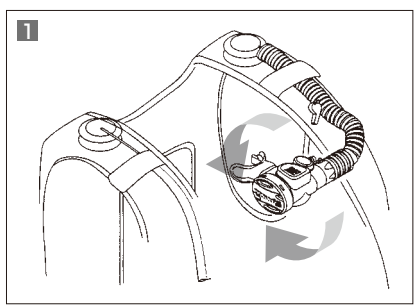
❷ホースアダプターの《スリーブ部》を図の矢印方向に回せなくなるまで締め込みます。



■マウスピースの位置決め 1

❶B.C.J.を実際に装着してください。

❷SS1を図のように回転させ、口にくわえやすい位置に調節してください。



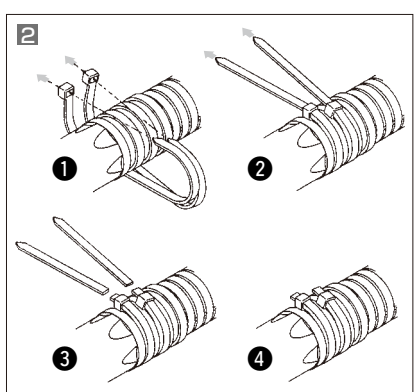
■マウスピースの位置決め 2

❶接続部の根元の溝にストラップを図のように巻き付けます。

❷ストラップの接続部が隣り合わないよう、図のようにずらし、しっかりと締め付けます。

❸ストラップの余分な部分をニッパーなどで切り取ります。

❹締め付け部にあそびが無ければ完了です。



L.P.(中圧)ホースへの接続（※販売店にご依頼ください。）

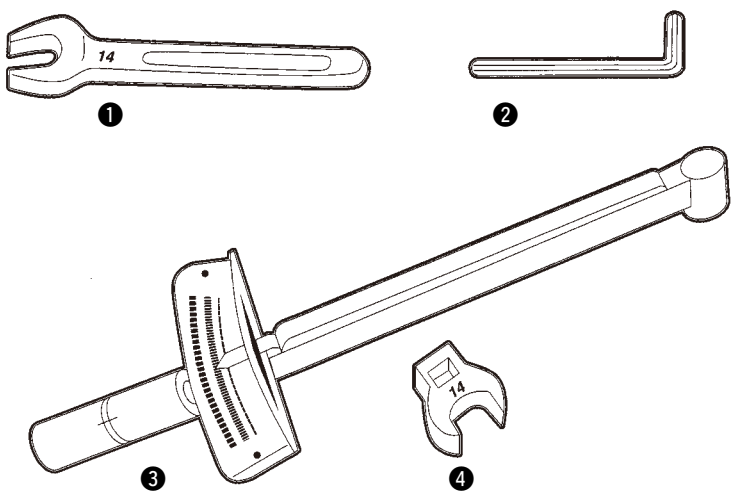
警　告

接続部は確実に締めないと、空気タンクと接続してバルブノブを開けた際に空気漏れを起こし、最悪の場合、使用中に空気の供給が停止する恐れがあります。

警　告

■他の器材との接続

下記の工具は製品に関する該当工具です。当社のレギュレーターに取り付けるゲージ、B.C.J.、オクトパスレギュレーター、ドライスーツの中で、接続用ホースが他社製の場合は、下記の工具が使用できない事があります。適切な工具を使用しないと製品破損の恐れがありますので、その製品の取扱説明書の指示に従って作業してください。万一、その作業が原因で“当製品が損傷した”“使用者ならびに周辺の人々が事故・ケガをした”“施設に危害を与えた”などの場合は保証対象外となり、一切責任は負えません。



❶　❷　❸　❹

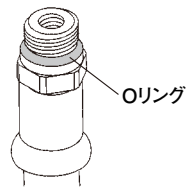
■用意する工具

❶14mm・スパナ(H.P.ホース用接続工具)
❷5/32・六角レンチ(H.P.、L.P.プラグ用脱着工具)
❸トルクレンチ(2〜10Nm(ニュートンメートル))
❹トルクレンチ用スパナアダプター(14mm)

■手順１） Oリングの確認

●L.P.ホースの接続ネジ部の根元にOリングが付いているか、変形・損傷が無いかを、必ず確認してください。もしも、異常があった場合は販売店に相談し、適切なOリングに交換してください。

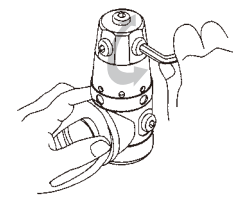
注）そのまま使用すると空気漏れを起こし非常に危険です。



■手順2） L.P.プラグ(栓)の取り外し

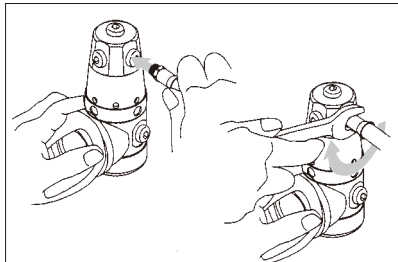
❶接続箇所のL.P.プラグを5/32インチの六角レンチで外します。

注）外したL.P.プラグはお子様が誤って飲み込まないように、手の届かない所に保管してください。



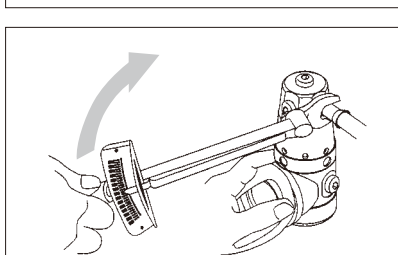
■手順3） L.P.ホースの接続

❷L.P.プラグを外したL.P.ポート部にそれぞれのL.P.ホースをつないで手で締めます。手で締められなくなったら14mm･スパナで仮締めします。



❸トルクレンチにアダプターを取り付け、ネジ山を壊さないために適正トルク《9.8Nm(ニュートンメートル)》まで締め付けて基本接続は終了です。

注）取り外したL.P.プラグは紛失に十分注意し、ホコリ・異物などがないよう大切に保管してください。L.P.プラグのOリングに異物などが付着したまま使用すると、空気漏れを起こす可能性があります。

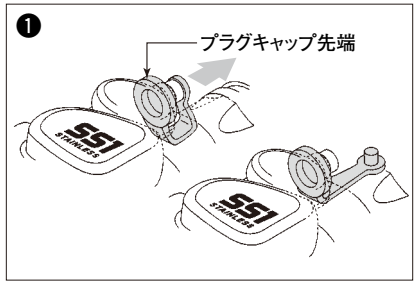


警　告

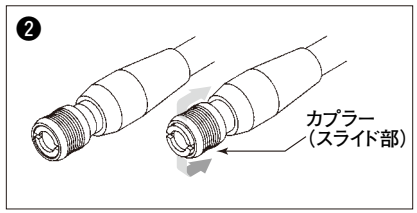
使用する前に、再度トルクレンチを使用して締め付けトルクを確認してください。

■手順4） SS1本体とL.P.ホースの取り付け

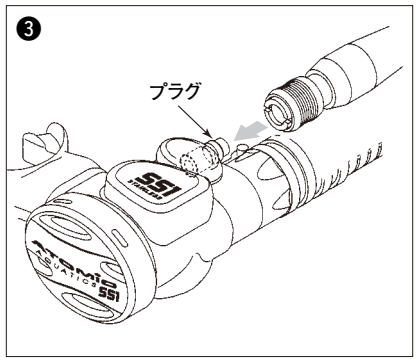
❶プラグキャップの先端部分を、図のように外します。



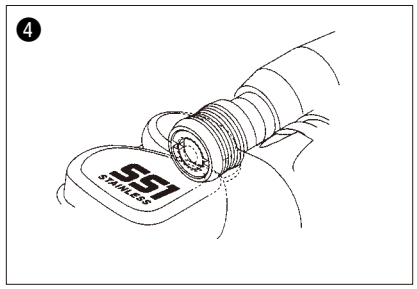
❷L.P. ホースのカプラーのスライド部を、図のように矢印方向に引きます。



❸L.P. ホースのカプラーのスライド部を引いたまま、SS1本体のプラグにホースを差し込みます。

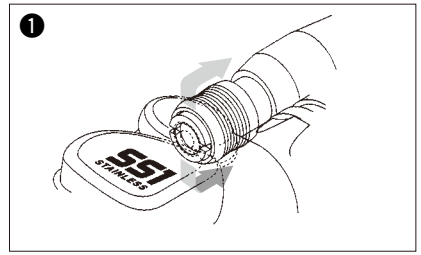


❹根元まで差し込んだことを確認したら、スライド部を放してください。ホースを引っ張って抜けないことを確認します。これで使用準備ができました。

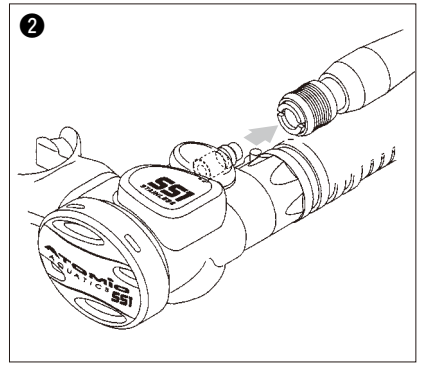


■手順5） SS1本体とL.P.ホースの取り外し

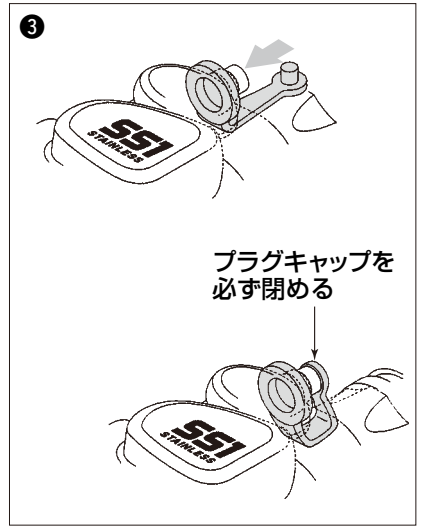
❶L.P.ホースのカプラーのスライド部を、図のように矢印方向に引きます。



❷L.P.ホースを、引き抜きます。



❸最後にプラグキャップを図のように閉めます。



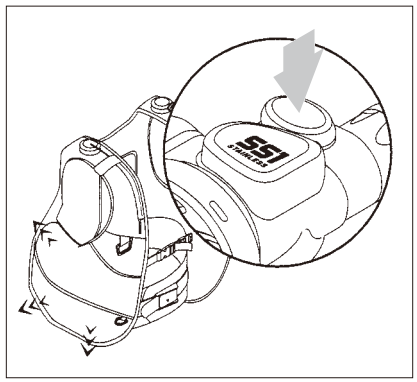
警　告

L.P.ホースの取り外し、水洗いなどのお手入れの際、保管する時には必ずプラグキャップを閉めてください。これを怠ると、器材の故障の原因になります。

ダイビング前のチェック

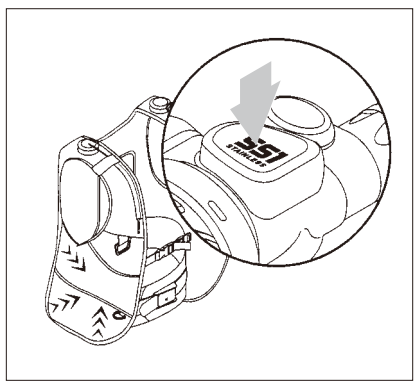
■手順1） 給気ボタン（インフレーションボタン）の確認

給気ボタン（インフレーションボタン）を押し込むと、B.C.J.内に空気が送り込まれることを確認してください。



■手順2） 排気ボタン（エキゾーストボタン）の確認

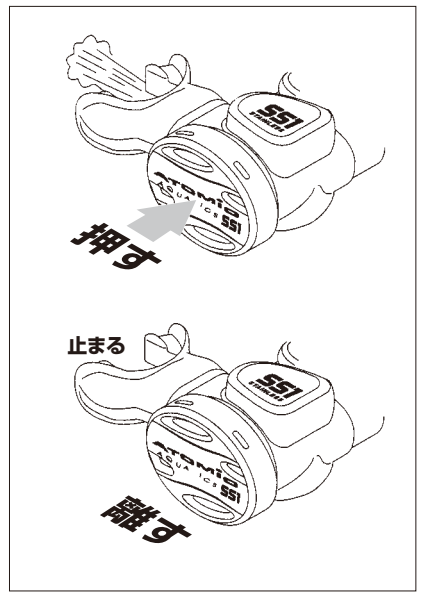
排気ボタン（エキゾーストボタン）を押し込むと、B.C.J.内の空気が排出されることを確認してください。



■手順3） パージボタンの動作確認

❶パージボタンを押して、マウスピースから空気が出ることを確認してください。
❷パージボタンを離して、空気が確実に止まることを確認してください。

❸安全のために、再度❶、❷を確認してください。

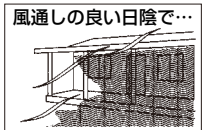


■手順4） マウスピースでの動作確認

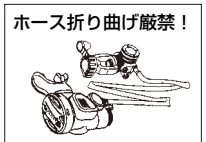
最後にマウスピースを実際に口にくわえて、呼吸をしてください。問題がなければ、準備完了です。

日常の点検と整備、保管

❶真水で洗浄し、塩抜きします。
水槽などに真水を入れ約10分浸した後、流水で、塩分や砂粒などを十分に洗い流してください。
注）潜水終了後の洗浄とお手入れが十分でないと、結晶化した塩分や細かい砂などが器材の可動部に詰まり、基本性能の低下、故障・損傷の原因となります。



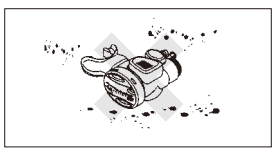
❷十分に乾燥させ、水分をなくします。
水分を十分に切り、風通しの良い日陰で乾燥させてください。
注）ダイビングポイントで十分な乾燥ができなかった時は、自宅に戻り次第、乾燥作業を必ず行ってください。乾燥機は絶対に使用しないでください。材料の劣化を招くだけでなく、重大な事故につながる可能性もあります。



❸安全な場所に保管します。
高温、多湿、雨、霧や直射日光が当たる場所、有毒ガスや粉塵発生の恐れがある場所は避けてください。お子様の手の届く場所は避けてください。
注）保管の際はL.P.ホースが折れ曲がらないように注意して保管してください。繰り返し折り曲げると、折り曲げ部の耐圧強度が低下し破裂するなど重大な事故につながる可能性があります。

注　意

ベンジン、シンナー、ガソリンなどの有機溶剤や、洗剤、化学雑巾などを使用して、SS1を清掃しないでください。材料の劣化を招き、破損の恐れがあります。



■乾燥場所や方法には、十分気をつけてください。砂など異物の混入し易い場所、色移行や変色などの乾燥は避けてください。故障や破損の原因となります。

■当製品の各部に潤滑油などを付けないでください。砂などの異物が付着し故障や損傷の原因となります。

■真水で水洗中にフェイス（パージボタン）を押さないようにしてください。押してしまうと、内部に水が入りその後乾燥させても内部に水が残ったままになり、故障や損傷の原因となります。

■真水洗いを行う前にプラグキャップが完全に閉まっているか、確認してから洗ってください。これを怠ると内部に水が入り、その後乾燥させても内部に水が残ったままになり故障や損傷の原因になります。

このような時に

警　告

トラブルが発生した場合は、下記の指示に従ってください。下記の症状に該当しない場合は、すぐ使用を中止し現地サービス機関あるいは最寄りの販売店に点検を依頼してください。

注）下記のチェック・処理で解決できない場合は、すぐ使用を中止し現地サービス機関あるいは最寄りの販売店にて点検を受けてください。

■セッティング上のトラブル

症状❶　オクトパスのマウスピースからの空気漏れ

対処1）ベンチュリー効果による空気の吹き出しの可能性があります。
パージボタンを押したり、マウスピースを手でふさいだりすると止まります。

■オクトパス機能上のトラブル

症状❶　空気が吸えない

対処1）空気タンクのバルブノブが開いているか、チェックしてください。
対処2）空気タンクの残圧が残っているか、チェックしてください。

症状❷　呼吸時にゴロゴロ音がする

対処1）セカンドステージ内に水が入っています。
パージボタンを押して（P.15参照）吹き飛ばしてください。

症状❸　呼吸時に異音がする

対処1）呼吸に支障をきたさない限り、問題ありませんが早めに点検を受けてください。

症状❹　呼吸時に段々抵抗を感じる

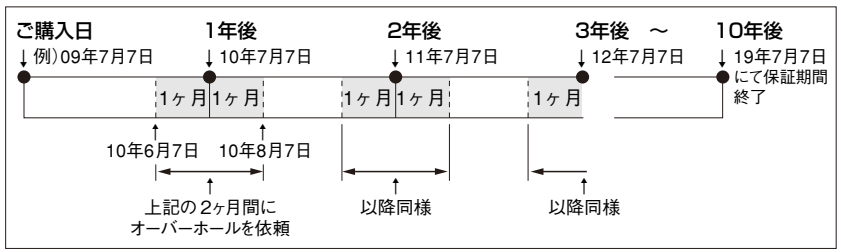
対処1）呼吸抵抗は水深や残圧に若干影響されます。潜水中はゲージをこまめに確認してください。

症状❺　呼吸時に上を向くと抵抗を感じる

対処1）問題ありません。構造上、上を向くと内部の空気が浮き上がろうとします。呼吸時は、それを吸い込む形になるため通常より抵抗を感じます。

保証規定

■10年間指定部品無償交換のスケジュール



保証期間

【10年間（指定部品）無償交換保証】
ご購入頂いた製品を弊社が指定した通り、1年毎に1回のオーバーホールを実施して頂いた場合、ご購入日より**10年間**に限り、弊社が指定する使用消耗品をオーバーホール時に無償でお取り替えする事をお約束致します。下記の期間内にオーバーホールを受けていただかない場合は、無償交換保証の対象外となりますのでご注意ください。

【オーバーホールによる（指定部品）無償交換保証の継続】
ご購入日から、1年以内に1回目のオーバーホールを受けてください。次回は、1回目のオーバーホール受付日から1年以内に受けてください。但し、使用頻度によりこの限りではありません。潜水回数で空気タンク100本以上使用した場合は、1年未満でもオーバーホールを受けて頂く事が指定部品無償交換保証継続の条件となります。1年を超えオーバーホールを受けて頂く場合は、指定保証部品に関して保証対象外となり、オーバーホールに必要なパーツは全て有料となります。但し、その後オーバーホールを受けて頂き、また1年後にオーバーホールをして頂く場合は、指定保証パーツは無料となります。
1年毎に1回のオーバーホールをお受けになっていても、無償指定されていない部品に関しての交換（部品代金・交換工賃）は全て有償となります。

※**製品の一般保証**（別添の製品保証書をご確認ください。）
弊社販売のレギュレーター及びオクトパスレギュレーターの通常製品保証は、お買い上げ後**1年間**です。この期間内に限り、製品上の不具合が発生した場合、該当部品も含め無償交換修理を致します。ただし、製品の一般保証期限を越えて発生した不具合の原因が経年変化ではなく、原因の全部又は一部が弊社に起因する場合は、その責任度合いに応じた適切な経費負担で修理交換致します。

保証の発生

オーバーホール関連の保証の登録はATOMICのホームページで行っています。登録フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。弊社着信後、折り返し登録確認メールをお送りします。この時点で登録が完了したことになり、保証が発生します。※ホームページ上で登録ができない場合は、販売店にご依頼ください。

ホームページアドレス　http://atomicaquatics-j.com

保証出来ない事項

ATOMIC（アトミック）ホームページ上で、保証登録が終了していない場合。（※製品の一般保証を除く。）
通常の使用方法に反した使用で発生した故障、損傷、破損、人的損害。
当取扱説明書に明記してある取扱い注意や警告に反した誤使用、また不適切な保管、修理、改造による故障、損傷、破損、人的障害。
天災、火災、地震、戦争、紛争、暴動、人災等による故障、損傷、破損、盗難。
1年に1回のオーバーホールを受けていない場合。（ご購入後1年以降）
以上の場合は保証適用除外となり、修理、交換に要した費用は実費払いとなります。

保証修理、オーバーホールの受け方

該当製品を最寄りのATOMIC（アトミック）製品取扱い販売店までお持ちください。但し、お買い上げになられた際に保証登録を済ませていないと、保証期間内でも有料修理となります。オーバーホール工賃は保証期間内でも有料となります。
お買い上げ販売店、最寄りのタバタ指定ATOMIC（アトミック）製品取扱い販売店以外でオーバーホール、または修理を受けると、その時点から指定部品無償交換保証継続は抹消されますのでご注意ください。

お約束

（株）タバタでは、万一、保証期間内に不具合が発生した場合は責任をもって無償修理及びお取り替えする事をお約束いたします。従って、保証期間経過後に発生した修理、交換は原則として有料です。
ホームページ上でのお客様の登録情報は、メンテナンス事業における商品の発送、関連するアフターサービス、商品・サービスに関するお知らせのために利用いたします。
オーバーホール及び修理に関する保証は**6ヶ月**となります。

部品の保有期間について

当製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期限は、製造打ち切り後**10年間**です。この部品保有期間を修理可能期間と致します。又、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店または最寄りのタバタ指定のATOMIC（アトミック）製品取扱い販売店にお問い合わせください。

注意事項

本保証は日本国内の正規輸入代理店の製品を購入された方のみを対象としています。

MEMO

MEMO